

2011年9月26日

各位

株式会社ミノファーゲン製薬

国内甘草（カンゾウ）栽培事業者への出資の件

株式会社ミノファーゲン製薬（本社：東京都新宿区西新宿3丁目2-11、代表取締役社長：宇都宮徳一郎）は、株式会社グリーンイノベーション（本社：東京都中央区日本橋本町2丁目6-1、代表取締役社長：原 泉）に出資の上、株主として同社事業を支援して参ることを決定しましたので発表致します。

本決定の背景は以下の通りであります。

1 . 弊社は 1938 年の設立以来、一貫してグリチルリチン酸製剤のリーディングカンパニーとして、確固たる地位を築いて参りました。グリチルリチン酸の原料は薬用植物の甘草（カンゾウ）ですが、その供給の大部分を中国に依存しております。中国では近年の乱獲により資源が枯渇してきていることに加え、中国政府の資源保護政策もあり、レアアース・レアメタル同様に、今後の安定供給が懸念される状況が起きております。

2 . グリチルリチン酸の用途は、製薬・食品・化粧品等多岐に亘ることから、甘草は弊社のみならず日本の製薬産業にとっても必要不可欠な植物です。今後も甘草を安定的に調達して行くため、中国を中心とした海外に資源を頼るだけではなく、日本国内における甘草栽培を促進し、新たな国内供給ルートを確保することが、社会的にも重要な課題であります。

3 . 株式会社グリーンイノベーションは、2009年11月に甘草を中心とする薬用植物の国内栽培を目的に設立されたベンチャー企業です。また、三菱樹脂株式会社と、『最新の園芸技術を活用した甘草栽培方法の共同研究』等によって、既に比較的短期間で高含量のグリチルリチン酸を有する甘草の人工栽培に成功しており、来年から本格的な生産拡大を計画しております。

4 . 弊社は、同社の今後の事業進展に伴い、最終ユーザーとして国産甘草の安定的供給を受ける予定であり、国内における甘草の生産から消費までのサイクルを完成させることにより、日本で最も使用量の大きな甘草ユーザーである弊社の社会的責任の一端を果たせるものと考えております。

以上